



- 第1回 大河ドラマ「風林火山」をめぐる 平成18年9月19日
講師/佐倉 一徳さん NHK長野放送局企画総務部副部長
樋口 博さん 長野市産業振興部観光課課長
- 第2回 もっと楽しくて、元気な街づくりを 平成18年10月23日
講師/久米 えみさん ながのクラッセ会長
樋口 敦子さん ながのまちづくりカフェメンバー
- 第3回 スポーツによる街づくりを 平成18年11月21日
講師/鷲沢 幸一さん アスレながの事務局局長
室賀 豊さん 長野市アイスホッケー協会理事
- 第4回 写真で見る長野の街並み 平成19年1月23日
講師/清水 隆史さん フォトグラファーほか 常盤 昭二さん CMディレクター
- 第5回 健康と美容を保つために 平成19年3月22日
講師/虎羽里(トラバリ)ゼーラさん アーユルヴェーダ・健康セラピスト
- 第6回 環境と街づくり ばていお大門・TOiGOの設計に参画して 平成19年4月23日
講師/竜野 泰一さん 株式会社エーシーエ設計 取締役副社長 [一級建築士]
- 第7回 信濃グランセローズの挑戦 平成19年5月21日
講師/木田 勇さん 信濃グランセローズ監督
- 第8回 スポーツマンシップの大切さ 平成19年8月29日
講師/荻原 健司さん 参議院議員・五輪金メダリスト
- 第9回 トウガラシの尽きせぬ魅力/「農」による地域活性を探る 平成19年10月24日
講師/松島 憲一さん 信州大学大学院農学研究科 准教授
- 第10回 命のバトンを渡す「ピオトープ」/長野市をピオトープネットワークシティに 平成19年11月14日
講師/松岡 保正さん 国立長野工業高等専門学校 環境都市工学科教授
- 第11回 簡単・おいしい・オシャレ/わたしのレシピができるまで 平成20年3月26日
講師/浜 このみさん クッキング・コーディネーター
- 第12回 あなたのからだけは「築何年」ですか? 平成20年7月14日
講師/角本 浩二さん バランスアドバイザー 長野県健康管理士会会長
- 第13回 アメリカ生活で感じたあれこれ 一変化に対して前向きになることの大切さ 平成20年8月19日
講師/針谷 友久さん 東京中小企業投資育成株式会社 主任(長野県担当)
- 第14回 市役所第一庁舎及び長野市民会館の在り方を考える 平成20年9月16日
講師/水野 守也さん 長野市総務部次長 兼庶務課長
- 第15回 長野ハルセイロ 一優勝報告&JFL昇格への挑戦 平成20年10月29日
講師/バドゥ・ビエイラ監督、薩川了洋コーチ、真富信宏キャプテン
- 第16回 農業再生とブランド化 平成20年12月3日
講師/町田 良夫さん 社団法人長野市農業公社 常務理事
- 第17回 地上の楽園は馬の背にあり 平成21年2月18日
講師/中山 修さん 中山法律事務所 弁護士
- 第18回 循環備蓄型の農業の実践 宇宙のリズムにあった農業で一次産業の再生を試みる 平成21年6月3日
講師/塩澤 研一さん (財)いのちの森文化財団副理事長 (株)水輪ナチュラルファーム代表取締役
- 第19回 郷土を包む「おやき」 平成21年7月14日
講師/小出 陽子さん (向)ふきっ子のお八起 代表/信州おやきブランド化委員会 研究会リーダー
- 第20回 信州の伝統から生まれる食文化 一漬物の新しい風 平成21年9月2日
講師/宮城 恵美子さん (有)宮城商店専務取締役/木の花屋
- 第21回 飯綱高原を、もっと住みよく、おもしろく! 平成21年11月24日
講師/志村 雅由さん NPO法人 飯綱高原よっこらしよ 代表理事
- 第22回 JFL昇格に向けて 平成22年3月17日
講師/薩川了洋さん AC長野ハルセイロ新監督
- 第23回 先人の知恵を受け継ぐ〜トチの実、雑穀、あんぼ〜 平成22年5月25日
講師/石沢 一男さん (有)田舎工房 代表取締役
- 第24回 3度目でつかんだオリンピック出場 平成22年7月28日
講師/新谷 志保美さん バンクーバーオリンピック代表 (株)竹村製作所 勤務
- 第25回 逃げないスケルトン ～夢と感動と勇気を～ 平成22年9月15日
講師/越 和宏さん スケルトン競技3大会オリンピック日本代表 (株)システックス所属
- 第26回 Go to J〜J〜を長野に… いよいよ地域決勝大会!〜 平成22年10月25日
講師/鈴木 政一さん 長野ハルセイロ・アスレチッククラブ強化本部長
- 第27回 グランドデザインの視点で「信州の食」を考える 平成22年11月30日
講師/千村 尚司さん 千村ブレイン代表・ソムリエ
- 第28回 ご利益のある町づくり 平成23年1月26日
講師/川崎 史郎さん フリーライター・市民記者ネット代表
- 第29回 防災と危機管理 平成23年6月1日
講師/安藤 長一さん 篠ノ井消防署署長・緊急消防援助隊長野県隊長(第二次派遣隊)
- 第30回 江戸のエコロジスト 一茶 平成23年8月30日
講師/マブソン 青眼さん 俳人・比較文学者
- 第31回 Waを生かしたまちづくり 長野はもっと元気になる 平成23年9月28日
講師/井上 裕子さん 信濃毎日新聞社編集局地域活動部長・編集委員
- 第32回 メディアから見た長野 平成23年10月19日
講師/田幸 淳男さん 信越放送取締役相談役
- 第33回 旅の楽しさと長野の魅力で世界をむすぶ 平成24年1月31日
講師/飯室 織絵さん 観光客向けゲストハウス「1166バックパッカーズ」運営
- 第34回 神輿で街の元気を呼び覚ませ 平成24年2月28日
講師/相原 哲さん ながの町神輿連合会武睦会 会頭
- 第35回 長野とオリンピックレガシー 平成24年3月26日
講師/小林 亨さん 日本オリンピック委員会(JOC)勤務
- 第36回 すべてが一丸となって ながのの宝もの。をJへ 平成24年4月24日
講師/薩川了洋さん AC長野ハルセイロ監督
- 第37回 信州の野鳥たち 平成24年8月31日
講師/小宮山 義光さん 日本野鳥の会長野支部会員
- 第38回 見る 学ぶ 体験する 自然農法 平成24年9月27日
講師/塩澤 研一さん 農業生産法人榎水輪ナチュラルファーム代表取締役/(財)いのちの森文化財団 副代表理事

- 第39回 善光寺表参道と中心市街地のWi-Fi計画 平成24年10月25日
講師/俣田 達男さん NTT東日本 長野支店長
- 第40回 しなの鉄道長野以北延伸と営業戦略 平成24年12月6日
講師/山田 隆さん しなの鉄道(株) 専務取締役
- 第41回 自然との共生 平成25年2月28日
講師/藤岡 牧夫さん イラストレーター・絵本作家
- 第42回 花は人を育てる 平成25年4月9日
講師/矢澤 秀成さん 園芸研究者/ながの花と緑そして人を育てる学校校長
- 第43回 人と組織の笑顔の創造 平成25年5月31日
講師/近藤 京子さん カウンセラー/NPO法人「わくわく志事研究所」所長
- 第44回 信州の分水嶺 ～山と川と里～ 平成25年8月22日
講師/栗田 貞多男さん 写真家
- 第45回 長野市の魅力と不動産取引の発展性 平成25年11月20日
講師/鶴志田 明弘さん 野村不動産アーバンネット株式会社 企業不動産部専任部長
- 第46回 地域におけるバイオマス利活用について 平成26年1月29日
講師/天野 良彦さん 信州大学工学部物質工学科教授
- 第47回 AC長野ハルセイロ 一私のチームマネジメントについて 平成26年3月3日
講師/美濃部 直彦さん AC長野ハルセイロ監督

- 第48回 わたしにとってのボランティア 平成26年4月16日
講師/丸田 勉さん 脚本・演出家 森の家 林りん館館長
- 第49回 金沢の未来と長野へのエール 新幹線で結ぶ金沢と長野の絆 平成26年5月26日
講師/浅野 邦子さん 株式会社 第一 代表取締役会長
- 第50回 取材を通してみた長野の魅力 ～長野をもっと元気に!～ 平成26年10月8日
講師/平沢 幸子さん 長野朝日放送 アナウンサー
- 第51回 チームマネジメント 平成27年1月19日
講師/本田 美登里さん AC長野ハルセイロ・レディース監督
- 第52回 本物のおもてなし ～加賀屋の経営理念とビジョン～ 平成27年3月17日
講師/小田 與之彦さん 株式会社加賀屋 代表取締役社長
- 第53回 地域の元気をつくる「成長企業」は、ここが違う!～地方の中規模企業が成功するための法則とは?～ 平成27年7月1日
講師/廣井 紀文さん 株式会社ディーテス 代表取締役社長
- 第54回 長野から宇宙へ! ～ローカル企業のチャレンジ～ 平成27年8月25日
講師/羽生田 豪太さん 株式会社羽生田鉄工所 代表取締役
- 第55回 食を通して発見 知られざる長野の魅力! 平成27年10月8日
講師/中島 麻希さん 1級フードアナリスト
- 第56回 摩訶不思議!長野の神社の靈感の世界 平成27年11月17日
講師/齋藤 安彦さん 宮司

- 第57回 大河ドラマ「真田丸」の舞台裏 ～撮影を通して見た信州の魅力～ 平成28年4月2日
講師/屋敷 陽太郎さん NHKチーフプロデューサー
- 第58回 真田丸の時代を語る～時代考証の舞台裏 平成28年7月2日
講師/平山 優さん 歴史研究者
- 第59回 寺町商家の運営で気づいた`食、の力 平成28年8月30日
講師/西村 知子さん 寺町商家運営アドバイザー
- 第60回 地域から社会を変えよう! 行動する人の集まる港CREEKS 平成28年11月11日
講師/広瀬 毅さん 株式会社CREEKS 広瀬毅建築設計室代表
- 第61回 長野ハルセイロ 一今シーズンの目指すチームづくり 平成29年3月13日
講師/浅野 哲也さん AC長野ハルセイロ監督
- 第62回 輝く女性の活躍で長野県の企業を更に魅力的に! 平成29年5月30日
講師/中島 恵理さん 長野県副知事
- 第63回 信州は橋の都 千曲川と犀川に架かる名橋/日本一美味しい飯山のお米 平成29年7月19日
講師/服部 秀人さん 信州・橋の日推進協議会専務理事/エコファーマー
- 第64回 少子高齢化時代の長野市を考える ～行政の政策現場から見えるもの～ 平成29年8月23日
講師/平尾 勇さん 長野県観光機構エグゼクティブ・プロデューサー(前松本市商工観光部長)
- 第65回 長野県を元気に! メンタルヘルス(心の健康)からの大きなヒント! 平成29年9月21日
講師/野池 裕子さん タイヤモンド・セルフ長野ファースト 代表 講師
- 第66回 陶芸の楽しみ 平成30年3月23日
講師/愛甲 宏明さん 炭平コンピューターシステム株式会社 代表取締役社長

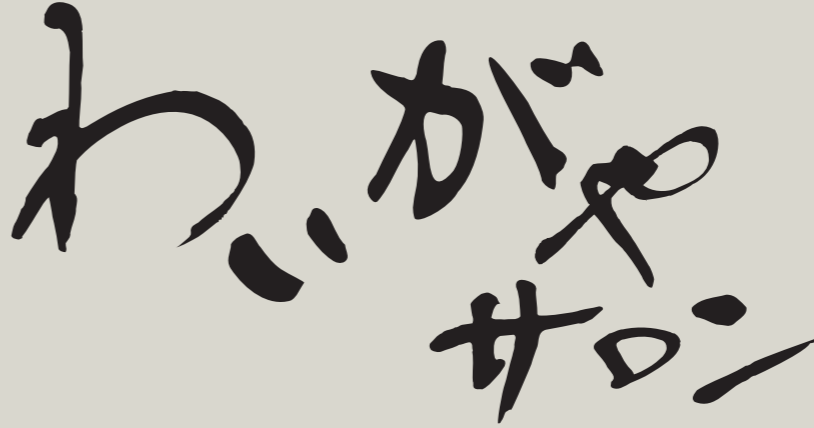
- 第67回 話すって難しい? 平成30年4月23日
講師/坂橋 克明さん フリーバーソナリティー
- 第68回 中世善光寺如来堂東向き 平成30年7月5日
講師/宮下 秀樹さん 株式会社守谷商会 執行役員、国立長野高専客員教授
- 第69回 これからの長野における大学教育 ～人生100年時代の生き方と学び方～ 平成30年8月23日
講師/金田一 真澄さん 公立大学法人 長野県立大学 学長
- 第70回 広域景観から見た善光寺 ～山岳信仰と他界意識～ 平成30年9月26日
講師/笹本 正治さん 長野県立歴史館 館長



NUPRI
Nagano Urban Policy Research Institute

NPO法人
長野都市経営研究所

〒380-0834
長野市大字鶴賀問御所町1289-1丸本ビル2F
TEL.026-235-7911 FAX.026-235-6166
www.nupri.or.jp
e-mail:nupri@nupri.or.jp



通信

Vol. **71**
2018.11



NPO法人 長野都市経営研究所

第71回 劇場が街を変える

講師／山本 克也さん

長野市芸術館 総支配人

11月30日(金) 18:00~20:00

■座長：岩野 彰 場所／NUPRI事務所

師走を目前に控えた11月末日の宵。音楽教育が盛んな京都で育ち、盟友の指揮者・佐渡裕氏と二人三脚で兵庫県立芸術文化センターの立ち上げを牽引したキャリアをもつ山本克也総支配人に、街のイメージを塗り替えた劇場づくりの秘訣と、長野市芸術館の今後の展望をお聞きしました。

西宮北口で劇場づくり

大学を出て京都市が運営する京都会館(現・ロームシアター京都)に入り、数年して京都市交響楽団のマネージャーになりました。そこで佐渡裕という2歳年上の指揮者に会います。彼も当時はまだそれほど売れていない時期で、ママさんコーラスの指揮をやってもらうなど、今では考えられない地道な活動を一緒にしました。

マネージャーとして経験を積んでいたある日、兵庫県庁から連絡がありまして、阪神淡路大震災の10周年でオペラハウスとオーケストラをつくるという話でした。とくに新しいオーケストラづくりに興味が湧き、二つ返事で準備室に入りました。ところが、その建設地は、オシャレな神戸などではなく、西宮北口にある阪急ブレーブスの球場跡。昼は競輪場に使われていて、ダティなイメージがありました。準備室の仲間と「これは相当やばいな」と話した覚えがあります。ホテルや大型ショッピングセンターを併設する計画もあったのですが、結局他の施設は撤退してしまい、兵庫県立芸術文化センターを単独で建てることになりました。

オープン4年程前に芸術監督を佐渡さんに引き受けてもらい、イベントとして子どものオーケストラ「佐渡裕とスーパーキッズ」を結成しました。東京や海外でもオーディションを行い、20人のメンバーで始めて、もう15年くらい経ちます。これは私もかなり本気でやった仕事の一つで、今ではほとんどの子が後に海外に行ったり、長野市芸術館を拠点に活動するナガノ・チェンバー・オーケストラの一員になったりするような、そこそこ上手いオーケストラになっています。

オープン1年前には、ユニバーサルスタジオジャパンや劇団四季、宝塚歌劇団の営業社員を引き抜きました。彼らと話して開眼したのは、リピーターづくりの大切さ。一日一日の来場者数で勝負するのではなく、年間どれだけ来てもらえるかを考えようと思いを改めました。

劇場のエネルギーが人を呼び込む

オープニングの演目は、ベートーヴェンの第九に決めました。それも普通は1公演ですが3公演いったらどうか。ポスターにこだわったり、阪急電車(の社内吊り広告)をジャックしたりとインパクトのある下準備が功を奏して、チケットは即日完売。予約殺到でシステムダウンするほどの人気ニュースになり、新聞にも載りました。出したら出ただけ売れて、最終的に5公演を行いました。チケットを売り切る公共ホールは珍しいということで、僕らのやったことが本にもなっているんです。この4月まで私も知らなかったんですが、じつは長野市芸術館にそれが置いてあって「山本さんの本がありますよ」とスタッフの方が教えてくれました。

クラシックホールは、敷居が高いとよく言われます。佐渡さんとは、敷居は下げるけれども、バリアフリーにはしないと。敷居を



やまもと かつや 1963年、京都府生まれ。大阪芸術大学芸術学部を卒業後、京都市音楽芸術振興財団に入所し、京都市交響楽団のマネジメントを担当。1995年より兵庫県芸術文化協会で兵庫県立芸術文化センターの創設に携わり、同センター開設後は管弦楽団の楽団主幹を務めるなど運営に尽力。2018年4月より現職。



山本総支配人が創設した「佐渡裕とスーパーキッズ」は、長野ジュニアコーラスのよきお手本

またぐ喜びがこうした施設には必要じゃないか、ということを常々話していました。劇場は、やはり特別な場所。バリアフリーにして誰にでもではなくて、またぐ喜びなりを感じてもらうことが劇場、とくに公共ホールには必要で、それを実現するのが僕らの責任だと思っています。

芸術文化センターが賑わいを生むようになると、当初撤退していた高層マンションや大型ショッピングセンターが戻ってきてくれました。いま西宮北口は、関西の住みたい街No.1です。びっくりしますよね。最初はダティな場所に準備して、色々とこだわって劇場を建てた。スーパーキッズや、海外の若手を集めてトレーニングして育て上げるという、ちょっと珍しいオーケストラをつくった。そういうエネルギーがあったからこそ、見てくれだけじゃない何かワクワクした感じが出せたんだと思います。

長野市芸術館は第2ステージへ

長野市芸術館も、なるべく敷居を低くして、皆さんにまたいでいただける芸術館でありたいと思っています。長野市芸術館の第2ステージのミッションに「ともに成長」を掲げ、さらなる展開を進めます。

まずは、シーズン・プロデューサー制の導入です。長野市は自然が豊かで、春夏秋冬がはっきりしているので、季節ごとにプロデューサーを立てて特色のある催しを行います。春は吹奏楽フェスティバルをやり、夏はジャズフェスを立ち上げ、秋はクラシックで世界水準の新しい弦楽四重奏団をつくり、冬は伝統芸能に力を入れるという具合です。

春の吹奏楽フェスティバルは長野市内の高校生から選抜された60名が出演しますが、たまたま選ばれなかった子のためにクリニックを行ったり、顧問の先生やご父兄のためにセミナーを開いたり、あるいはチケットのもぎりを予備軍の中学生の吹奏楽部員にってもらうなど、吹奏楽というキーワードで多くの人に関わってもらい、一緒に盛り上げていきたいと考えています。ジャズフェスや演劇フェスも同様で、ステージに上がる人だけではなく、色々な人を巻き込んでいきたい。また、信州大学の学生とも徹底的にコラボレーションしていきます。授業やゼミの一環として、長野市芸術館をどうしていいかと話し合いながら、芸術館の認知度を上げていけたらと思っています。長野市出身の演奏家には、お盆里帰りコンサートのようなかたちで凱旋公演してもらいます。それも、その日のために若手の作曲家に新曲を作ってもらって、演奏だけではない付加価値をつけます。

また、ネームバリューのあるシーズン・プロデューサーとは別に、ポップス部門とクラシック部門の2名のレジデントプロデューサーを置き、年間を通して若手のプロデューサーに協力してもらいます。

ジュニアからシニアまで、ともに成長

6月に結成したジュニア合唱団は、団員である99人の小さな音楽家が芸術館に住んでいるという位置づけです。周りの方々にも、子ども扱いしないで一人の音楽家として接するようお願いしています。そして、合唱に限らず芸術館で行う様々な催しのリハーサルを見学させ、感性を磨いてもらっています。最終的にコーラスでなくても、何か突き抜けた感性をもってもらえればいい。10年後、20年後に「面白いやつは芸術館のコーラス出身やな」と言われるのが、僕らの目的です。

長野県は長寿県でもあるので、60歳からでも成長できるということで「劇団セカンドステージ」というシニア向けの劇団をつくらうと思っています。人生経験が豊富なので、芝居にも生きるはずなんですね。手先が器用な方には衣装を作ってもらうのも面白いと思います。いま「お届け芸術館」といって、若手演奏家が病院や養護施設で演奏しているんですが、逆に高齢者の方をバスで迎えに行く「お迎え芸術館」も考えています。お迎えだと「もうあかん」となるので名称は変えますが(笑)。シニア割引や、親子三代パスも検討しています。

その他、4台もあるピアノの弾き込みを兼ねた無料ピアノコンサートや、バンド練習室の利用者によるライブも考えていますし、すでに始めている市役所のロビーコンサートも継続していきます。基本的にはあまりいいカッコはせず、泥臭いことも試しながら、市民の方々とともに成長できればと思っています。ご協力をお願い致します。

京都弁の穏やかな語り口から、長野市芸術館を盛り上げる斬新な策が次々と打ち出され、その柔軟な発想に思わず感嘆の声が上がるシーンも多数。芸術館の今後がますます楽しみになった内容充実の講演でした。



劇場が発するエネルギーが人を呼び込み、今では西宮北口は関西の住みたい街No.1に



長野市芸術館 メインホール



長野市芸術館では、親しみやすい催しも幅広く展開

